

市政に対する

一般質問

今定例会では、12人の議員が2月19日、20日、24日に一般質問を行いました。質問の中から、主なものを質問者順に掲載します。

一般質問とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをたどすもので、市側は、質問に対し基本的な考え方や問題解決策について答弁します。

芦葉弘志議員

- 介護問題について
- 人口減少対策について
- 防災対策について

宮澤大地議員

- 地域活動の担い手不足について
- 防犯設備を含めた市の防犯対策の取組について

坂本達夫議員

- 旧香日向小学校の賃貸借契約について
- 幸手市庁舎整備敷地を「現庁舎敷地」と決定したことについて
- 大きな地震により倒壊の危険のある市役所本庁舎の問題について
- 市道の総延長と整備費用について
- 幸手市シティプロモーション映画について

小泉圭司議員

- 市長が示す幸手市の将来ビジョンと今後の市政運営の方向性について
- 公共交通再編に伴う移動手段確保と今後の交通政策の方向性について
- ふるさと納税PRの新たな手法について
- 夕方子ども帰宅放送における高齢者への呼びかけ追加について

高野優一議員

- 日本保健医療大学（南キャンパスも含む）について
- 若年層の定住策について

大平泰二議員

- 水道行政について
- 駅西口土地区画整理について
- 学校給食の無償化について
- 中川排水機場移管について
- 香日向歩道問題

枝久保喜八郎議員

- 公共施設の利用制度の在り方について
- 市庁舎の倒壊リスクについて

小林英雄議員

- ネーミングライツについて
- 市営釣り場神扇池の今後の方向性について
- 市指定文化財（無形民俗文化財）について

松田雅代議員

- 幸手市立東小中学校開校前年度の試行に関する時期と責任体制について
- 市が運行する公共交通について

四本奈緒美議員

- 電話リレーサービス「手話リンク」の導入について
- 身寄りのない高齢者等の終活応援について

本田謡子議員

- 市主催の催しの来賓人選について
- 避難所について
- ハラスメント調査について


木村治夫議員

- 農業振興について
- 災害対策について
- 令和8年度一般会計予算について

3月定例会 会期日程

2月18日（本会議） 閉会	2月19日（本会議） 議事日程の報告	2月20日（本会議） 議事日程の報告	2月24日（本会議） 議事日程の報告	2月25日（本会議） 議事日程の報告	2月26日（本会議） 議事日程の報告	2月27日（本会議） 議事日程の報告	2月28日（本会議） 議事日程の報告	2月29日（本会議） 議事日程の報告	2月30日（本会議） 議事日程の報告	3月1日（本会議） 議事日程の報告	3月2日（本会議） 議事日程の報告	3月3日（本会議） 議事日程の報告	3月4日（本会議） 議事日程の報告	3月5日（本会議） 議事日程の報告	3月6日（本会議） 議事日程の報告	3月7日（本会議） 議事日程の報告	3月8日（本会議） 議事日程の報告	3月9日（本会議） 議事日程の報告	3月10日（本会議） 議事日程の報告	3月11日（本会議） 議事日程の報告	3月12日（本会議） 議事日程の報告	3月13日（本会議） 議事日程の報告	3月14日（本会議） 議事日程の報告	3月15日（本会議） 議事日程の報告	3月16日（本会議） 議事日程の報告	3月17日（本会議） 議事日程の報告	3月18日（本会議） 議事日程の報告	3月19日（本会議） 議事日程の報告	3月20日（本会議） 議事日程の報告	3月21日（本会議） 議事日程の報告	3月22日（本会議） 議事日程の報告	3月23日（本会議） 議事日程の報告	3月24日（本会議） 議事日程の報告	3月25日（本会議） 議事日程の報告	3月26日（本会議） 議事日程の報告	3月27日（本会議） 議事日程の報告	3月28日（本会議） 議事日程の報告	3月29日（本会議） 議事日程の報告	3月30日（本会議） 議事日程の報告	3月31日（本会議） 議事日程の報告
------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------

3月定例会

傍聴者		
26の方が傍聴されました。		
議会インターネット中継のアクセス件数 インターネットを利用した議会中継（ライブ及び録画）を行っております。		
1月・136件	2月・1,608件	3月・897件
の方が視聴されました。		
配信、動画サイトは こちら→		



宮澤大地議員



地域活動の担い手不足について

Q 消防団や夏祭り、学校見守りなど、これまで善意と責任感によって支えられてきた地域活動が、人口減少や高齢化、ライフスタイルの変化により担い手不足や継続の難しさに直面しています。市はこの現状をどのように認識しているのか。また、次世代へつなぐための

A 消防団員の加入促進に努めるとともに、若者や学生が参加しやすい「機能別消防団員制度」の導入を検討しています。幸手夏祭りは実行委員会が主体となり運営しています。市は直接の若年層勧誘は行いませんが、実行委員会と連携し関係機

市民生活部長
建設経済部長
教育部長

関との調整等の支援を行います。スクールガードの見守りは、高齢による活動継続の困難さ、新たな担い手不足の状況です。今後も関係機関と連携し、担い手の確保に努めます。



芦葉弘志議員



介護問題について

Q 高齢化が進む中で、家族による介護の負担が大きくなっている。働きながら介護を続ける方への支援強化が求められている。そこで、本市における家族介護者の現状をどのように把握されているのか伺う。介護する家族への相談支援や、負担軽減のための取組を現在どのように実施している

A 家族介護者の現状については3年に一度のアンケート調査のほか、地域包括支援センターへの相談内容等を通じて把握も日常的に行っており、相談支援も同センターを中

心を実施している。負担軽減の取組みとしては家族の状況に応じ、レスパイトケアにつながる介護サービスの活用方法を案内している。ケアラー支援は重要な課題と認識しており、これまで条例制定のための調査等を行ってきた。今後は国・県の動向や本市の実情・課題を踏まえつつ検討していく。

(健康福祉部長)



小泉圭司議員



防災放送で子供から高齢者への呼びかけを

Q 本市では防災行政無線を活用した子ども帰宅放送が行われています。これを活用し、子どもから高齢者へ向けた気遣いの一言、例えば「寒くなってきたので暖かくして過ごして下さい」といった呼びかけを添えることで、子どもと高齢者が支え合う関係性を地域に広げられるとともに、聞いた方が

温かい気持ちになり、熱中症予防など季節の健康注意にも有効と考えます。このような高齢者への注意喚起を試験的に実施する考えがあるのか、市の見解を伺います。

A 定時放送に高齢者への注意喚起等を加えることは、地域のつながりや見守りについて一定の効果が期待できると考えます。

しかし、現在の放送内容に高

齢者に対する呼びかけを加えることは、放送時間が長くなり、防災行政無線に対する注意意識が低くなることなどが考えられます。

また、防災行政無線の運用の趣旨からも、現段階では課題が多いと認識しております。

(市民生活部長)



坂本達夫議員



旧香日向小学校校舎の賃料は、どれほどか

Q 幸手市は、旧香日向小学校校舎を幸手看護専門学校に貸出している。1階から4階まで、面積は4478・1平方メートルで、賃料は年間24万6462円である。坪単価に直すと、1坪1月152円となる。

平成7年当時、香日向小学校の並びで商売をしていた人の家

賃は、坪単価でいうと、1坪1月に1万円だった。金額の差があまりにも激しい。

幸手市は、幸手看護専門学校にあまりに安く、市民の貴重な財産を貸出しているのではないか。

A 本件は、医療、福祉の成すべく、学校法人の運営の安定化を図ることにより、教育環境の維持確保を図るとともに、

地域医療、地域福祉体制の整備、充実を図るため、算出した賃料を減額する旨、平成25年第1回市議会定例会に提出した議案に対して、御審議をいただき、可決され、締結した契約である。

よって、1坪当たり月額152円というのは総合的に判断すれば、適正な金額であると考えられている。

(市長)



大平泰二議員



水道料金大幅値上げ回避について

Q

県水の料金が12円96銭値上げし、1.1m³当たり74・74円に。県水を約8割使用している幸手市は、さらに85円26銭値上げし、160円になる予定です。その結果、20m³当たりの下水道料を合わせた2カ月分の料金が約4千円増えます。この負担増を減らすには、漏水対策を強化して、幸手市自前

A

漏水対策につきましても、水道メーター検針時の戸別調査や路面調査を毎年度実施しており、漏水が発見された場所については、速やかに修繕を実施してきましたところ。また、供給単価につきましても、第2期幸手市水道ビジョン（経営戦略）の策定にあたり、



（水道部長）

県水の単価と地下水の造水単価を比較しています。それらの結果から、供給単価を下げるができるかどうか、検討してまいります。



高野優一議員



若年層の定住策を考える

Q

少子高齢化や人口減少は多くの自治体にとって喫緊の課題であり幸手市も例外ではない。当市では「まち・人・仕事創成総合戦略」において、子育て支援や婚活支援、住まいに関する補助など多岐にわたる取り組みをおこなっている。若年層が移住を検討する際に就職支援、住宅購入・家賃の支援、子育て支援の充実が重

A

視される。そこで提案する。雇用機会を増やす産業団地の拡張、空き家をリフォーム、リノベーションし賃貸契約で20年住み続けたら無償譲渡することで移住者と地域の空き家を結びつけるのはいかがか市の見解を伺う。人口減少対策に特効薬や魔法のつえはなく、「子育て」「移住定住」「雇用」の地道な取組の積み重ねが重要と認識して

いる。若年層の定住には働く場所の確保が不可欠であり、官民連携による大規模プロジェクトや産業団地の拡張を着実に進める。空き家については「幸手市空家対策計画」を策定し、令和8年度予算には空家等除却補助金を計上し、空き家の発生を未然に防止していく。リフォームやリノベーションについても先進事例を参考に研究を進める。

（建設経済部長）



小林英雄議員



Q 県によるネーミングライツで愛称が変更され、ハッピー公園、万葉の公園の愛称は、何の説明もなく使用不可になった。多くの子どもたちの応募の中から選ばれ、今や市内外でも定着し親しまれているハッピー公園、地元の方々が歴史的研究を行い、ボランティア活動で公園整備をする等、様々

A 県営権現堂公園のネーミングライツ事業は埼玉県の事業であることから、愛称不使用について、市では周知を行っていない。

愛称不使用については、金銭的対価を払って命名権を取得した企業への配慮を考えると、やむを得ないものと考えます。市としては、愛称を応募してくれた小中学生への配慮も必要であると考えており、どのような対応ができるか、可能性を含めて今後検討する。

(市長)

ハッピー公園・万葉の公園 愛称使用不可に



枝久保喜八郎議員



Q 公共施設の利用については、市民の利便性が第一とは思いますが、利用にあたって特にキャンセルの問題があると聞く。現状のシステムでは、市及び市民のダブル面で機会損失の面がある。キャンセルについてはキャンセル料が無いこともあり、当日キャンセルや無断キャンセルが

A 当日キャンセルや無断キャンセルの発生があることは認識している。次回使用時に窓口において、今後は早期の連絡をするように注意喚起を

行っている。インターネットによる施設予約時の電子決済の導入は無断キャンセル抑制に資すると考えるが、新たなシステム構築を要するため、今後の検討課題としたい。今後も窓口等での早めのキャンセル連絡をお願いし、未利用による機会損失が生じないように努めてまいりたい。

(教育部長)

市民からみた公共施設利用の利便性とは？



四本奈緒美議員



「手話リンク」システムの導入を

Q 聴覚や発話に困難がある方の為に、国は昨年4月に公共インフラとして「手話リンク」というシステムをスタートさせた。
市のホームページ上の「手話で電話をする」のボタンをクリックすると、手話通訳オペレーターを介して市役所に直接連絡が取れる。事前登録も不要

A 「手話リンク」は、聴覚や発話に困難のある方の行政サービスへのアクセスを具体的に支える仕組みであり、本市が制定を進めている手話言

(健康福祉部長)

で通話も無料。窓口に来ることなく、場所を選ばず利用する事が出来る。
本市に於いても聴覚や発話に困難がある方の利便性の向上の為に「手話リンク」を導入するべきと考えるが見解を伺う。
今後においては、運用面での整理を行いながら、本市における具体的な導入の在り方について検討を進めてまいりたいと考えている。



松田雅代議員



幸手市立東小中学校の開校に向けた取組加速を

Q 令和9年4月に小規模特認義務教育学校として開校する東小中学校。現在準備が進められているが、学校現場や教育委員会は教育課程や行事計画、日課表を早急にとりまとめ、授業参観や公開授業、体験会などで地域や保護者、市内外に魅力を発信する。これは「選ばれる学校」の重要要素である。

A 東小中学校の開校前年度となる令和8年度は、義務教育学校の土台を築くために重要な時期であると認識している。既存校舎改修・増築棟工事、図書や備品の整備など施設

(教育長)

また、本校の究極の命題「学校の安定的存続」には住宅・移住政策など市長部局の取組も重要である。
開校前夜となる来年度は取組を加速させるべきではないか。
環境の確実な整備を行い、スクールバスの運行準備や通学路の安全確保など通学支援体制の構築を着実に進めていく。同校は、9年間を通じた系統的・継続的な学びの実現に向け、特に教育課程の編成を重視している。今後、関係校の教職員と連携し、早期に編成できるよう努めていく。



木村治夫議員



地震時、生活用水確保のための、災害井戸登録



大規模地震災害発生時、当市においても、広域的な水道断水が発生する。上水道が復旧するまでの間、応急対応用の生活用水の確保が喫緊である、市民・企業等所有の、井戸利用登録制度を進言している、令和8年度対応に向けて伺う。

(1) 市民共助から災害井戸利用



(1) 県内市町の整備状況等の調査研究をすること、市内の神社・仏閣の井戸の有無を調査した。

(2) 例規を整備次第、広報紙、ホームページ等で広く災害用井戸の募集をかけるとともに、所



本田謡子議員



いざ避難、さてどの避難所？



市民のみなさんの中には、避難するには近くの避難所という先入観があるようです。しかしその避難所は、全市民を収容できるものではありません。避難には、自宅避難や避難所避難などがあります。その線引きと市民への周知について、市の今後の対策を伺う。



災害時の避難とは、危険な場所から安全な場所へ移動して生命を守る行動全般を指し、避難所への移動に限られません。自宅避難には、自宅が安全な場合に留まる在宅避難のほか、車中泊、親族・知人宅への避難、宿泊施設の利用等が含まれます。

一方、住宅倒壊や浸水の危険がある場合、または自宅での生活継続が難しい場合には、指定避難所への避難が必要となります。

す。在宅避難や車中泊避難を含む多様な避難行動について、今後も周知を図ります。
(市民生活部長)



有者である個人や企業等へ直接声がけをし、より多くの井戸を登録していただけるよう取り組む。
(3) 例規整備は令和8年度早々に整備し、速やかに登録へ向けての事務を進めていく。
(市民生活部長)